

アイデアの共有ができる場所作り

～あそか学会の開催～

名前

背景

- 日々、職員は一生懸命に働いているが、その成果がなかなか目に見えない。
- 事故など上手くいかなかった事例は共有されるが、上手くいったケースは共有されない。
- 法人内で類似の議論が行われていることから、情報の共有が不十分であると感じる

学会形式で募集をする

学会とは

特定の分野の知識や成果を共有するイベント

メリット

利用者：新しい知識や情報を得れる。

心身の健康を維持し、生活の質向上へと繋がる。

職員：介護技術や業務の工夫を学べ、スキル向上へ繋がる。

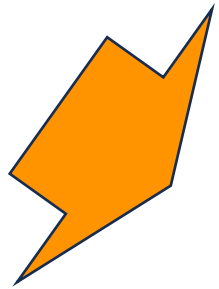
職場の環境やモチベーションの向上に役立つ。

法人：専門性やサービスの品質を向上することが出来る。

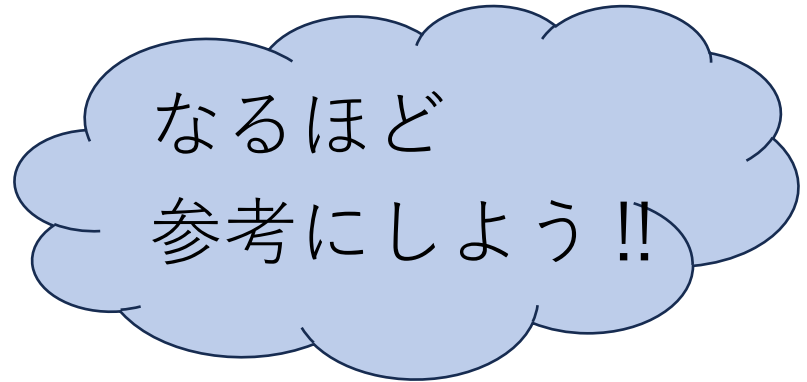
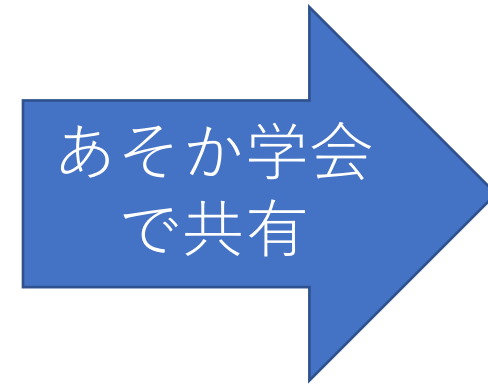
地域社会との繋がりを強化により、施設イメージ向上に繋がる。

1.業務の改善や工夫

〇〇を改善することで、
時間に余裕ができた
残業が減った



職員の業務負担の軽減



他事業所

2. ケアや、関わり方や、成功例

たとえば・・・

食事拒否の人が、
〇〇をすることで食
べるようになった



ケアの質が向上

あそか学会
で共有

なるほど
参考にしよう!!



他事業所

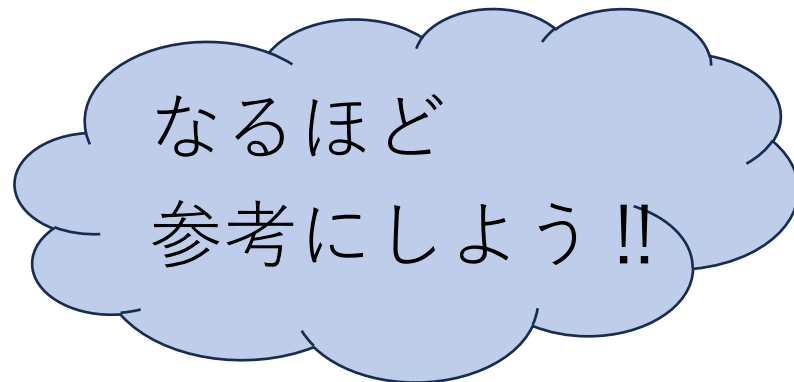
3. 今後とりくみたいこと



日常のケア



業務改善



他事業所

介護以外にもたくさん職員がいる

介護施設は様々な職種で成り立っているので、
他部門にもアイデアや業務について共有してはどうか・・・？



多くの部門で情報を共有し



入居者も職員も過ごしやすい環境へ